

穴生学舎

夏季号 スポーツ大会特集 平成29年8月 第28号
 発行：北九州市立年長者研修大学校 穴生学舎
 北九州市八幡西区築電一丁目5番1号
 http://kifakyu-nenchodai.com
 編集：平成29年度新聞編集委員会

平成29年6月17日(土曜日)、第24回穴生学舎ふれあいスポーツ大会が、研修生393名、職員18名、ボランティア158名、それに研修生のお孫さん15名を含む一般参加者73名、計642名が参加し盛大に開催されました。

9時50分、聖火ランナー(大会実行委員長=健康スポーツコースの吉田さん)が白煙をたなびかせて入場、見事聖火台に点火。聖火が燃え上がり、開会宣言です。国旗掲揚、大会実行委員長のあいさつ等の後、晴れの選手宣誓。紅組健康づくりサポーターコースの溝口幸治さんと白組郷土のなりたちコースの中野陽子さんが力強くスポーツマンシップを謳いあげました。その後場内に響き渡る深川指導員の掛け声の下準備体操を行いよいよ競技開始です。

「急がば回れ」「玉入れ」「アンパンにほえろ!」「大玉転がし」と競技は進み、誰でも参加自由の「レッツ炭坑節」を踊って午前9時の部が終了。昼食の後、待ちに待った紅白応援合戦です。双方趣向を凝らした応援は素晴らしく、ほぼ10日間に及ぶ練習の成果が十分にでており、会場が一体となって沸きあがる楽しいひと時でした。

午後の部は「手をつなごう」「仲良しラケット」「レレレのレ」。競技も無事終了し最後に全員で踊り明かして閉会式です。整理体操のあとよいよ成績発表。結果、紅組106点、白組134点で、白組の勝ちでした。楽しい一日は、かくしてひとりの怪我人もなく無事に終了しました。皆様お疲れ様でした!

第24回ふれあいスポーツ大会終了
今年白組の勝利!!



開会式 大会実行委員長のあいさつ

おはようございます。今日は、待ちに待ったふれあいスポーツ大会です。大いに楽しみましょう。このスポーツ大会実施にあたり、担当の植田さんを始め穴生学舎やドームの職員の皆さん、運営協力ボランティアの皆さん、計画、準備、運営にご協力いただきまして誠にありがとうございます。又、北九州市社会福祉協議会常務理事やご来賓の皆様、お忙しい中、朝早くからお出でいただきましてありがとうございます。私たちも最後まで精一杯頑張りますので、ごゆっくりご観覧ください。競技は紅組、白組の対抗戦になっていますので、各クラスの競技者や応援者は、自分の組をしっかりと応援してください。又、競技に熱中し、はりきりすぎて怪我をしたり、熱中症にならないように十分注意し、楽しく、思い出に残るスポーツ大会にしましょう。

ふれあいスポーツ大会実行委員長 吉田 正人



閉会式 穴生学舎所長のあいさつ

皆さん大変お疲れ様でした。穴生学舎すべての研修生とクラブ、ボランティアグループの皆さんが、紅白に分かれて各種スポーツやゲームを競っていただいたこのスポーツ大会もすべてのプログラムが終了しました。楽しい時間はあっという間に過ぎるものです。結果は白組の勝利となりましたが、どちらが勝っても不思議ではないほど皆さんよく頑張ったと思います。これだけの人が一堂に会する機会が少ない中で、勝ち負けを越えて皆の心が一つになり、一番の目的である相互の「親睦と健康づくり」がしっかりと図られたと思います。それは、皆さんの笑顔そして歓声がよく物語っています。(中略)お陰様で幸い怪我もなく、無事に終了いたしました。大会にご協力いただいた皆様に、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

穴生学舎所長 藤澤 隆文

<p>歴史に学ぶ  神之日 健治</p> <p>歴史を学ぶと、その時々の状況や人々の生活が、現代とどう違うのか、そして、その背景にはどのような社会や文化があったのか、ということがよく分かります。また、歴史を通じて、人々の生き方や価値観、そして社会の発展の過程を知ることができます。歴史は、私たちの未来を築くための重要な教訓を提供してくれます。</p>	<p>写真入門  鶴崎 才二</p> <p>写真撮影は、瞬間を捉え、記憶に残すための素晴らしい手段です。しかし、良い写真を撮るには、構図、光、そして被写体への理解が必要です。初心者には、まずは基本の構図や露出の調整から始めることが大切です。また、撮影の目的や伝えたいメッセージを明確にすることが、良い写真を作る鍵となります。</p>	<p>文化伝承  久松 明美</p> <p>文化は、人々の生活や考え方を形作る重要な要素です。伝統的な文化は、長い歴史の中で培われてきたもので、その価値や美しさを後世に伝えることが大切です。現代社会では、伝統文化の継承と発展が課題となっています。私たちは、自分たちの文化を誇りとし、積極的に発信していく必要があります。</p>	<p>心と身体の健康  田口 伊久子</p> <p>心と身体の健康は、私たちの生活の質を決定づける重要な要素です。ストレスや生活習慣の乱れは、心身の健康を損なう原因となります。健康的な生活を送るためには、適度な運動、バランスの取れた食事、そして十分な休息が不可欠です。また、心の健康を維持するためには、ストレス管理やメンタルケアが重要です。</p>	<p>穴生学舎 初めて入学の方には 感想を聞きました!</p>
<p>絵画入門  福井 久美子</p> <p>絵画は、感情や考え方を視覚的に表現するための素晴らしい手段です。初心者には、基本的な構図や色彩の使い方を学ぶことが大切です。また、観察力や想像力を鍛えることも、絵画を上手に描くための重要な要素です。絵画を通じて、自分自身の内面を表現し、コミュニケーション能力を高めることができます。</p>	<p>国際情報  清野 由嗣</p> <p>国際化が進む現代社会では、国際的な視野やコミュニケーション能力が求められています。国際情報を知ることは、グローバルな社会で活躍するための重要なスキルです。また、異文化理解や多文化共生の意識を高めることも、国際社会で生きていくために不可欠です。</p>	<p>アジアを学ぶ  馬場 幸枝</p> <p>アジアは、急速な経済成長を遂げ、国際社会における重要な役割を果たしています。アジアの文化、社会、経済について学ぶことは、私たちの未来を築くために不可欠です。また、アジアとの交流や協力を促進することも、国際社会で生きていくために重要な課題となっています。</p>	<p>健康づくりサポーター  坂口 哲雄</p> <p>健康づくりサポーターは、地域社会の健康増進に貢献する重要な役割を果たしています。健康づくりの推進には、専門的な知識やスキルだけでなく、コミュニケーション能力やリーダーシップも重要です。健康づくりサポーターとして活躍するためには、継続的な学習と実践が不可欠です。</p>	<p>実用書道  松木 昭人</p> <p>書道は、長い歴史を持つ伝統文化であり、心を落ち着かせる効果があります。実用書道は、日常生活で役立つ書体や技法を学ぶことで、コミュニケーション能力を高めることができます。また、書道を通じて、美意識や芸術的な感性を養うこともできます。</p>
<p>健康スポーツ  中山 公夫</p> <p>健康スポーツは、心身の健康を維持し、生活の質を向上させるための重要な手段です。定期的な運動は、ストレスを軽減し、免疫力を高める効果があります。また、健康的な生活習慣の形成にも貢献します。健康スポーツを通じて、自分自身の健康を管理し、より良い生活を送ることができます。</p>	<p>生活情報  古屋 里栄</p> <p>生活情報は、私たちの日常生活に役立つさまざまな情報を提供します。健康、福祉、教育、経済など、さまざまな分野の情報を収集し、活用することで、より良い生活を送ることができます。また、生活情報を通じて、社会問題や課題について学ぶこともできます。</p>	<p>地域ふれあい  青木 和子</p> <p>地域ふれあいは、地域社会の絆を深め、相互の理解と協力を促進するための重要な取り組みです。地域交流イベントやボランティア活動などを通じて、地域住民とつながり、共に生活していくことができます。地域ふれあいは、地域社会の活性化と持続可能な発展に貢献します。</p>	<p>英会話  小沢 靖弘</p> <p>英会話は、国際社会で生きていくために不可欠なスキルです。英語を学ぶことは、海外旅行やビジネスでのコミュニケーション能力を高めることができます。また、英語を通じて、世界文化や価値観を理解することもできます。英会話学習を通じて、自分自身の可能性を伸ばすことができます。</p>	<p>健康管理  大庭 正</p> <p>健康管理は、心身の健康を維持し、生活の質を向上させるための重要な取り組みです。定期的な健康診断や生活習慣の改善を通じて、病気の予防や早期発見を行うことができます。また、健康管理を通じて、自分自身の健康を管理し、より良い生活を送ることができます。</p>

応援団長に聞きました!

- ①出し物はどうやって決めましたか
- ②気をつけたこと ③団員の皆さんへ



紅組応援団長 小川 純一さん

①できる人がいたら「燃えろみんなの北九州」にしました。出場時の進行曲も付けました。

②皆が定位置に揃うのに苦労しました。事前に会場に印をつけていたのが競技の途中にはがれてしまいましたが、皆きちんと揃っていました。最初の頃は男性の踊りに不安がありましたが、本番までに練習を重ねた結果、ほぼ満足のいく踊りができました。最後の応援席に向かってのエネルギーはぶっつけてでしたがよく出来ました。

③みなさんよく頑張ってくれました。8日間に及び練習にもよく参加してくれて、お陰様でとてもいい応援ができました。ありがとうございました。



白組応援団長

小野 隆男さん



①うちには例年団長として皆を率いてくれた長谷川さんがいたので彼女にお任せしました。②自分としてはとにかく気合を入れて、入場時から立ち位置に揃うまでや、踊りの途中で隊列が乱れないよう格好よく見えるのに気がつかしました。

長谷川 善子さんの話

①今は「ピコ太郎」がブームなので、その動きを「松の木小唄」に合わせて振付しました。とにかく、振付が簡単で、後々思い出になるようなものと考えました。衣装はなるべくお金がかからないように必要最小限のものだけ買い、あとはあるものでなんとかしました。皆が助けてくれたのでお陰で早くできました。

②最初は皆さんなかなか覚えられなかったようですが、9日間猛練習をしたお陰でうまく踊れるようになりました。

③終わった後、皆さんが「楽しかったよ!」とってくれたのが嬉しかったです。ほんとにありがとうございました。



研修生の皆さん、応援団に参加してください。楽しいですよ!

スポーツ大会 スタッフ



競技得点表				
①危がば回れ	8	12	6 応援合戦	
②玉入れ	5	5	7 手をつなごう	
③アンパンに帰えろ!	68	72	8 神輿しなご	7 13
④大玉転がし	0	10	9 しゃしん	18 22
⑤レッツ炭坑節			合計	106 134



聖火作成秘話

オリンピックは元より、スポーツ大会での聖火の役割は、神に捧げる神聖な火です。その、神聖な火の下で正々堂々と繰り広げられるスポーツ大会が、学舎三大行事のトップとして盛大に行われました。

燃えよ!! 一丸となって

例えデザインされ描かれた聖火であろうと、思いは一つに一丸となって皆で燃えようとの意気を込め、描いたものです。

聖火デザイン・作画:生活情報コース 弥永 恭平

スポーツ大会実行委員会について

実行委員会では開閉会式や競技プログラムの選定、応援席の場所、会場設営・撤去など大会の運営事項を決め、大会終了後は反省点などを話し合い次年度への申し送り事項としました。実行委員の皆さん、お疲れさまでした。

★トピックス★

諏訪健二さんトライアスロン優勝

健康管理コース諏訪健二さん(74)が、平成29年6月18日に開催された『虹の松原トライアスロン唐津』のトライアスロン大会年代別(70歳以上の部)で優勝されましたので紹介します。

トライアスロン競技は水泳1.5km、自転車40km、ランニング10kmを走破する過酷なレース(鉄人レース)です。諏訪さんは3時間9分59秒の好タイムでの優勝です。

日頃の練習は日曜日に自転車50km、水曜日にランニング12km、土曜日に水泳2.5kmと継続的に実施されているそうです。諏訪さんは来年も本大会で優勝することを目標に日々練習に励んでおり、健康管理コースでもスポーツ面でのリーダーとして活躍されています。

今後のご健闘をお祈りしています!



スポーツ大会 どうでした?

今年度も無事、スポーツ大会が終了しました。そこで、スポーツ大会に参加した皆さんに感想や今後に対する反省点を聞いてみました。

スポーツ大会は年度初めにコースの結束を固め、他コースの友人に会える貴重な行事です。毎年「応援合戦」に期待しています。長い時間と努力で仕上げた皆さんに感謝です。委員会理事の皆さんの反省や提言に驚きました。関係の皆さんが一生懸命にされたことにお礼を申し上げます。

心と身体の健康 岡本 陸彦

コースの仲間の協力で、楽しく役目を終えてほっとしています。ホームルーム、看板作成でコース内の親睦が深まりました。また応援団に参加したおかげで他コースの愉快的仲間もできました。皆さん楽しくまじめな若者友?です。

英会話実行委員 井口 健二

種目が少なくコースによっては全員が参加できない!玉入れ、玉転がしは全員参加で良い。各種目の組数を増やし複数参加できるようにしたらもっと楽しめると思う。応援合戦は踊りではなく応援形式が応援合戦らしくて良いのでは。

健康管理実行委員 高山 良男

応援合戦がいちばん印象に残っています。当コースからも、女性3名が紅組の応援団に参加し、大会当日まで練習に励み、スポーツ大会を大いに盛り上げてくれました。応援団の皆さん、お疲れ様でした。

地域ふれあい実行委員 奥 晴雄

大会を通じて感じたのは皆さん大変元気が良いという事です。感動しました。私よりも年上の先輩たちを見て元気を頂きました。1年間良い人生勉強ができそうで楽しみです!

絵画入門実行委員 島田 純一

ボランティアの音愛の会による実況放送がよかったですね。来年も、ぜひ続けてください。応援合戦は最高でした。演ずる人、見る人。最高の盛り上がりでした。反省点は種目が少なく、燃えつきることができなかったことです。

健康づくりサポーター 青江 慶雄

学舎入学も実行委員も初めてです。無事に終了できました。単に書道のみを学ぶのではなく各種の行事目標に向かって色々な年齢層の人と協力して進む過程こそ大切で楽しいものであると痛感し、学舎や皆様に感謝しています。

実用書道実行委員 平田 弘子

今年の大会はお孫さんの参加もあり和やかな大会でした。また、負傷者もなく安全面には十分配慮されていたようです。競技内容は若干マンネリ化の感があり、より良い大会継続のため改善が必要ではないかと思います。

歴史に学ぶ実行委員 小畑 俊義

初めて参加して、大会が多くのボランティアの方の協力を得て実施されていることに穴生学舎の歴史を感じました。また、写真入門コースにおいても研修生相互の親睦と交流が深まるなど大変有意義な大会となりました。

写真入門実行委員 千々和 俊一

今年で9年目の受講となります。初めてスポーツ大会実行委員と応援団員のお世話をさせていただくことになりました。関係者の皆様のご協力が無事大役を果たすことができ満足感一杯です。特に応援団員としての体験は私自身の思い出の大切な1コマとなりました。感謝申し上げます。

文化伝承実行委員 田中 學